

第58号・令和7年11月

農業会議だより

発行：一般社団法人佐賀県農業会議



農地集約化の話し合いの様子（白石町）

【内容】

1. 農地集約化の話し合い（嬉野市、江北町、白石町）
2. 農地利用最適化の取組みに係る県への意見書提出
3. プラスワン運動の取組み
4. 農業委員・推進委員研修会を開催
5. 農業委員会女性協議会総会・研修会を開催
6. 吉野ヶ里町農業委員会 女性委員の紹介
7. 農業担い手Sプラス 大交流会のPR
8. 雇用就農資金事業の募集
9. 大規模農地紹介 現地案内ツアー～Open Farmland in 佐賀～
10. 玄海町農業委員会の取組み
11. 活躍する農業法人の紹介
12. 農業者年金の加入推進について
13. 全国農業新聞、全国農業図書の普及推進について
14. 常設審議委員会の結果について
15. 今後の行事予定について

1. 地域計画の見直しと農地の集約化について

令和7年3月末までに県内すべての市町で343の地域計画が策定されました。

策定された地域計画の中には、現状の地図が目標地図となっているものや将来の耕作者が位置付けられていないものなど様々です。そのため、市町等関係機関は地域での話し合いを年1回以上行い、地域計画の見直しを進めていく必要があります。

今後、農業者が大幅に減少することが見込まれる中で、地域農業を将来にわたって維持していくには規模拡大や生産効率性の向上を図る必要があり、農地の集約化は不可欠となってきます。

そのため、県は市町及び農業委員会等の関係機関とともに耕作者や地権者の意向を踏まえた上で、まず県内3か所（嬉野市、江北町、白石町）で農地集約の実践地区を選定し8月～9月にかけて農地集約の話し合いを行いました。

	1回目	2回目
白石町	8月4日（月）	9月1日（月）
江北町	8月5日（火）	8月27日（水）
嬉野市	8月21日（木）	

話し合いの1回目は農地集約の目的や集約補完図の説明などについて県農業経営課より話があり、地域として農地集約化を進めていく合意をとりました。

また、2回目は具体的に集約補完図の作成を行いました。

この集約補完図を用いた方法は、担い手の耕作エリアを決めて、離農した農地は、そのエリアの担い手が耕作する考えのもと、将来的に調整を進めていくため、最終的に集約化に結び付きやすいと考えられます。

農地の集約化を進める中では、農地の賃借料の問題や地権者の意向など課題もありますが、地域農業を維持していくためには、地域計画の見直しとともに農地の集約化、集約補完図の作成が重要となってきます。

（集約補完図の作成については次のページ）

集約補完図を活用した農地集約

集約補完図とは

○将来な主要な農家で、**1筆ではなく、担い手ごとの耕作エリア(集約・拡大したいエリア)**を定めた地図

※目標地図ではなく、あくまで地域の担い手、市町・農業委員会等の共通認識の将来地図

※将来の主要な担い手の意向を優先することで、今後の農地利用に向けた地図が描きやすい

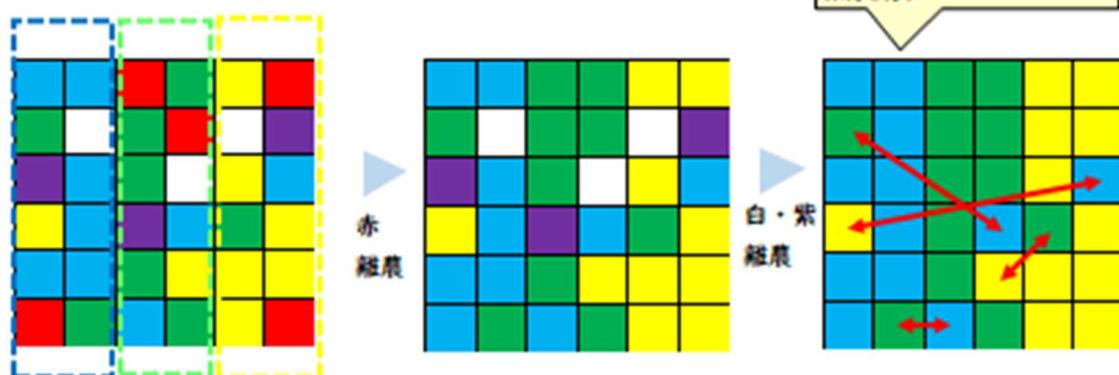


1

集約補完図を活用した農地集約

集約補完図

- ・将来担い手（青、緑、黄）



○今後、離農者が急速に増えることは確実。集約補完図を作成して、離農者が出てくるたびに、**集約補完図に基づいて、耕作者に農地をあっせんしていく**ことが基本。→ 自然に集約化が進む。

※1人の離農者農地全てを1人の耕作者にあっせんすれば、農地はばらばらのままの可能性が高い。

2

2. 農地利用の最適化の取組みを強化するための意見書を提出 ～ 農業者の声を県に届ける～

佐賀県農業会議の大園会長（佐賀市農業委員会会長）と山崎副会長（唐津市農業委員会会長）は、10月22日に「農地利用の最適化の取組みを強化するための意見書」を県農林水産部の池田副部長に提出しました。

この意見書は、令和6年度に各農業委員会で行われた農業者等との意見交換会の結果や令和7年7月～8月に実施した農業委員会会長・事務局長との意見交換会、さらに常設審議委員会の意見を踏まえて取りまとめたものです。

意見交換では、大園会長より農業経営の効率化を図るために農地の大区画化や集約化についての支援を求めました。さらに、山崎副会長より上場台地のダムに水があったおかげで春先の渇水に対応できた。引き続き上場地区の農業水利事業についての要望を行いました。

池田副部長からは、「本県の農業振興を進める上で担い手の確保・育成支援や基盤整備事業及び農業水利事業にしっかりと取り組んでいきたい。

いただいた意見を今後の県施策の参考にしていきたい。また、国への要請活動にも活かしていきたい。」と話されました。



農地利用最適化の強化に関する意見書提出の様子



地域農業の課題について意見交換

【意見書の項目】

1. 食料・農業・農村基本計画に掲げる施策の実現について
2. 担い手の確保・育成について
3. 中山間地域農業の振興及び有害鳥獣被害軽減対策について
4. 農業委員会法・基盤強化法・農地法等の見直しに向けた検討について
5. 地域計画の実現に向けた市町や農業委員会、農地中間管理機構への支援の充実について
6. 農業会議の運営予算等の安定確保について

3. プラスワン運動の取組みについて

農業会議（会長：大園敏明）では、今年度から全農業委員会で「プラスワン運動」の取組みをお願いしています。これは、農業委員・推進委員が、それぞれの地域の現状や課題に対し、どういったことをやるべきかを考え、それに向けて何かひとつ行動に移すというもので、この運動を通して農業委員会の役割である「農地を守り、担い手を育てる」ことを実践していく取組みです。

農業委員会から報告いただいた今年度の活動内容の一部を紹介します。

《地域計画関係》

- ・策定の際のアンケートと目標地図を確認して、地区の状況を把握
- ・目標地図の確認と現地確認（照らし合わせ）
- ・策定時に将来の意向が確認できなかった農地の意向確認、目標地図への耕作者張り付け
- ・計画の見直しに向けた話し合い（協議の場）への参加

《集積・集約化》

- ・耕作地として紹介可能な農地の意向確認
- ・貸借の相談対応、利用調整



《新規参入の促進》

- ・新規就農者との話し合い、新規就農相談会への参加
- ・トレーニングファーム卒業生への農地のあっせん
- ・遊休農地の所有者へ意向確認、参入者に照会できる農地として準備

《遊休農地の発生防止・解消、非農地化の推進》

- ・管理不十分な農地の所有者への声かけ
- ・新規発生した遊休農地の所有者を訪問、状況確認
- ・再生困難な農地の非農地判断の実施、所有者の同意取得



《相続未登記農地関係》

- ・未手続の貸借農地をリストアップし、未手続の理由が未相続や所有者不明の場合は制度の周知と活用促進

《日常活動》

- ・各地区で月1回ミーティングを実施
- ・日常的な農家への声かけ
- ・定期的な農地の見回り

4. 令和7年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催

農業会議は、農業委員・推進委員が地域計画の推進や農地利用の最適化に積極的に取り組んでいくため、9月11日、12日に有田町及び神埼市で「令和7年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催し、約430人が参加しました。

研修では、まず、京都府京丹波町農業委員会の元事務局長で、現在は全国農業会議所の専門相談員等を務める永武幸子氏より、「一緒にすすめる最適化活動の推進」と題し講演いただきました。6年間の事務局長職で大事にされたのが委員とのコミュニケーション。普段から積極的に声をかけて委員が事務局へ立ち寄ることを習慣化し、何でも相談・協力し合える関係性に。委員の声を受けて活動記録簿記入の手引き



永武幸子氏の講演

や利用状況調査判断事例集、地域計画策定に向けた委員活動の手引き等を作成し、特に活動記録簿記入の手引きによるサポートによって活動日数が大きく増加し、活動状況の把握や積極的な活動展開、外部に対する委員活動の周知と理解につながったとのことです。

次に、嬉野市農業委員会の石橋会長より、「嬉野市における農地利用最適化の取組み」について事例報告いただきました。嬉野市では委員活動の推進のために様々なことを実践されており、タブレットによる現地確認や、活動記録簿を書きやすく改善されたほか、定例総会後の勉強会では農地法等の机上の研修にとどまらず、現場での栽培技術等の研修も行わわれています。



石橋勇市氏の事例報告

また、地域計画については、国や県、JA等との対話や連携のもと、地域の法人や営農組合、再生協とも協議しながら策定し、今後は計画の具現化に向けて進めていくとのことです。プラスワン運動では、農地の集約に向けた話し合いや担い手がない地域の参入候補地の調整にも取り組み、将来を見据えた委員会活動に邁進されています。

最後に、県農業経営課から「地域計画の充実・実現に向けた取組」について説明され、昨年度までに県内343地域で地域計画が策定されており、これからは計画の充実や実現に向けて、農地の集約や地域内外から幅広く受け手を確保していく取組を進める方針であり、委員にはこれらの後押しをお願いしたいとのことでした。

5. 農業委員会女性協議会総会・研修会を開催

県農業委員会女性協議会（岩橋久美会長）は、8月29日（金）に第17回総会を開催し、会員42名（会員数48名）が出席。令和7年度事業計画など3議案が承認されました。

総会後には以下の内容で研修会を開催しました。

【1】新任委員の自己紹介

（鹿島市、神埼市）

【2】女性委員の登用要請活動の報告

役員より

【3】女性協議会での女性登用に関する取組みについて

女性協議会として女性登用促進のために何ができるか検討

（グループワーク）

【4】地域計画での女性委員の役割について

農業会議より

【3】のグループワークでは、各委員が

- ①女性登用する上での課題、問題点
- ②女性登用につながった取り組み
- ③女性協議会として何ができるか、していくべきか

について意見を交わしました。

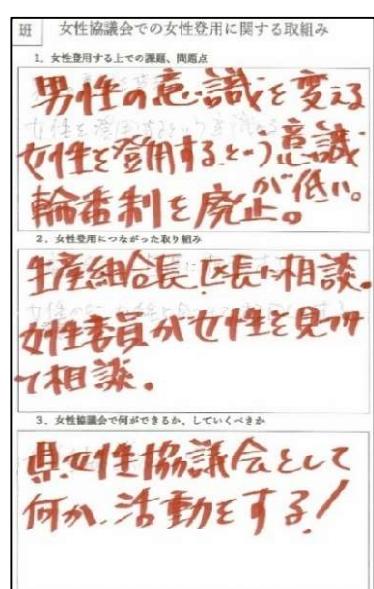
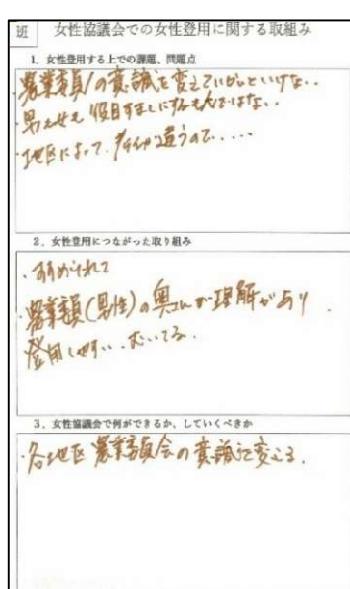


女性委員登用に関するグループワークの様子

登用が進まない要因として、「輪番制があるので難しい」「家族の理解が必要だから」

女性協議会ができることとして、「JA女性部など女性組織と活動してはどうか」「農業委員会に女性委員の必要性をしっかり伝える」などの意見が出ました。

女性協議会では、これらの内容を踏まえながら、登用促進に取り組んでいくこととしています。



6. 吉野ヶ里町農業委員会 女性農業委員の紹介

今年度、改選した農業委員会の女性農業委員に活動で心掛けていることや意気込み等についてインタビューをしました。

中村佐代子さん・2期目

- ◎担当地区：三津
- ◎選任経緯：JAさんが神埼地区の女性部から推薦
- ◎経営作物：米・大豆
- ◎趣味：家庭菜園
- ◎活動で心掛けていること：農家への声掛けや相談活動



隈本たつ子さん・2期目

- ◎担当地区：箱川
- ◎選任経緯：JAさんが神埼地区の女性部から推薦
- ◎経営作物：米、麦、大豆
- ◎趣味：スポーツ観戦
- ◎力を入れたい活動：農業者年金の加入推進

米光由喜子さん・2期目（中立委員）

- ◎担当地区：大曲
- ◎選任経緯：吉野ヶ里町役場に勤務していたことから自薦で就任
- ◎趣味：ウォーキング
- ◎活動への意気込み：農地パトロールを通じた農家との情報の共有



【女性委員へのメッセージ】

農業委員会の活動は幅広く1期だけでは、なかなか理解しきれない部分も多いので、是非2期以上は継続して頑張ってほしいと思います。

女性委員をもっと増やしましょう!!



7. 農業担い手 S プラス 大交流会

経験豊富な先輩農家と交流できる絶好の機会です!!

農業担い手 大交流会

に参加しよう！

2025.11.26 水

この交流会は、多くの担い手が出会い、
交流を通じて、農業経営の発展につなげる
ことを目的としています。

若い農業者の皆さんの参加をお待ちしています！

プログラム

Part 1 基調講演 13:10~15:50	Part 2 名刺交換&交流会 16:00~17:00	Part 3 情報交換会 18:00~20:00
経営発展の道のりを学ぼう！ 上原グループ 会長 上原 隆生氏	経験豊富な経営者と交流して、 これからの経営を考えよう！ (経営者は裏面を参照) ウーマンメイク 株式会社 代表取締役 平山 亜美氏	もっと親睦を深めよう！ 参加費 6,500円

場所
グランデはがくれ
(佐賀市天神2丁目1-36)

共催
佐賀県、佐賀県農業会議、
青年農業士会、農業青年クラブ連絡協議会、
佐賀県農業法人協会

申込み
こちらのLoGoフォームから
申し込みください。

問合せ先
一般社団法人佐賀県農業会議 担当：武藤
TEL: 0952-20-1810
MAIL: sanoukai@sanoukai.jp

締切 11.5

Part 1 基調講演の講師紹介

「販路拡大と人材育成」 上原グループ 会長 上原隆生氏

大分県国東市でネギの水耕栽培を行う。徹底した気温・水温管理にこだわり日々の記録をデータ化し最善の栽培方法を導入。また、中間業者を省き全国60か所のスーパー等に新鮮なネギを届ける販路を確立した。従業員は福利厚生が整った環境で子育て中の人口や外国人など幅広く雇用し地域貢献している。大分県主催の「おおいた農業経営塾」の講師として若手農業者的人材育成にも取り組み、大分県農業法人協会の会長としても活躍中。



「農業分野での女性活躍」

ウーマンメイク株式会社 代表取締役 平山亜美氏

大分県国東市で「女性が輝く農業を通じて地域活性化に貢献する」を理念に掲げ、従業員18名と水耕栽培でレタスを栽培。女性の感性や知恵を最大限に発揮し、安心・安全の生産管理を徹底し消費者目線でニーズに応えた商品作りを目指す。同じママとして従業員が子育てに注力できる労働環境の整備に取り組む。

Part 2 交流会に参加するスペシャリストたち！彼らと意見交換しよう

リーダー論！



(有)伊万里グリーンファーム
前田 清浩氏
金融機関から農業へ。
日本農業法人協会副会長を努める地域のリーダー！

大規模経営！



(有)岩石農産
岩石 学氏
失敗は成功の基！
チャレンジ精神を忘れない。県内屈指の大規模優良経営！

一貫経営！



(株)フェルマ木須
木須 栄作氏
中山間地の活用のため
に土木工事の資格取得。
10年後の経営目標は
500ha！

先進的農業経営！



(株)イケマコ
池田 大志氏
地域農業発展のため、
スマート農業や加工・輸出にも取り組む先進的農家！

経営塾講師！



(株)麻生園芸
麻生 朗氏
幅広い人脈と経験を
活かして後進のための
経営塾の講師を務める！

女性活躍！



(株)百姓屋
市丸 初美氏
働きやすい環境づくりや育種に取り組み
常に挑戦を続ける女性経営者！

有機栽培！



(株)サガンベジ
園田 幸男氏
施設野菜や米の有機農業で持続可能な農業経営を目指す県内唯一の農業法人！

16次化！



(株)クラベルジャパン
平田憲市郎氏
花農家から国産トウガラシの生産・加工・販売で農業の可能性を追求！

働き方改革！



吉牟田園芸
吉牟田 太氏
業務の見える化を図り、従業員53名が活躍する職場作りで強い農業経営！

ブランド戦略！



ありた(株)
池田 憲正氏
ありたビリーブランドで
消費者に認知、選択される戦略で全国に販路拡大！

中山間農業振興！



(株)みゆきファーム
池田美由紀氏
地域農業発展のため、
苺の独自販売と人材育成や農業支援サービスなど取組中！

16次化・女性活躍！



(株)香月農園
香月 涼子氏
いちごの可能性を追求中！農業女子とワクワクした活動で農業活性化！

地域農業・女性活躍！



黒木農園
黒木 貴子氏
女性農業者が地域で輝き活躍を目指す！レンコンのレシピやコスメ開発で地域を活性化

スペシャリストごとにテーブルを設け、各テーブルの参加者同士で名刺交換していただいた後、スペシャリストたちが皆様の質問にお答えします。

経営や栽培技術など、皆様の経営方針や悩みに合わせて相談したいスペシャリストを希望でき、人脈拡大と実践的な情報収集ができます！
(裏面のLoGoフォームから選択してください。)

8. 雇用就農資金事業の募集

農業経営者の皆さんへ

雇用就農資金

全国農業会議所は、50歳未満の就農希望者を新たに雇用し、農業就業又は独立就農に必要な農畜産物の生産技術・経営に関するノウハウ等を習得させるための研修を実施する農業法人等に対して資金を交付する「雇用就農資金」を実施します。

事業実施を希望される場合は、令和7年10月21日(火)から11月25日(火)(必着)までに雇用就農資金公式HPの「応募申請フォーム」より申請を行ってください。

◎雇用就農者育成・独立支援タイプ：農業法人等が就農希望者を雇用し、農業就業又は独立就農に必要な実践研修を実施する場合に資金を交付

◎新法人設立支援タイプ：農業法人等が、新たな農業法人を設立して独立就農することを目指す者を雇用して実践研修を実施する場合に資金を交付

(※ 農業法人等が職員等を次世代の経営者として育成するために実施する派遣研修を支援する「次世代経営者育成タイプ」も随時募集しています。(詳細は、都道府県農業会議等にお問い合わせください。))

助成内容

支援タイプ	助成期間	助成額 ※1,2
雇用就農者育成 独立支援タイプ	最長 4年間	年間最大60万円(月額5万円) ※3
新法人設立支援 タイプ		年間最大120万円(月額10万円) (3-4年目は最大60万円)(月額5万円)

※1) 各タイプともに、新規雇用就農者が多様な人材(障がい者、生活困窮者、刑務所出身者等)の場合は、年間最大15万円が加算されます。

※2) 事業実施期間が3ヶ月未満の場合は助成金は交付されません。

※3) 雇用就農者育成・独立支援タイプは1経営体当たりの新規採択人数は年間5人まで、かつ3人目以降の助成額は年間最大20万円となります。

募集期間等

募集回	募集期間	支援対象となる 新規雇用就農者の採用日	支援期間
第1回	2025年3月4日～4月7日	2024年6月1日～2025年2月1日	2025年6月1日～2029年5月31日
第2回	2025年7月1日～8月4日	2024年10月1日～2025年6月1日	2025年10月1日～2029年9月30日
第3回	2025年10月21日～11月25日	2025年2月1日～2025年10月1日	2026年2月1日～2030年1月31日

事業に関する問合せ先

- 詳細は農業会議へお問い合わせください。担当：山本・稻富
- 募集要領・応募申請フォーム等は公式HPへ！



(↑公式ホームページ)

公式HPは **雇用就農資金 応募** で検索 [\(https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/\)](https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/)

9. 大規模農地紹介 現地案内ツアー～Open Farmland in 佐賀～



▶ 定 員：先着20社（参加費無料）※ 交通費、宿泊費は自己負担

▶ 申込締切：2025年11月14日（金）まで

▶ 移動手段：原則、参加者自身が車を手配し自分で移動。

ただし、車の手配や運転が難しい方はお伝えください。

10名程度は、事務局側の車に同乗可能です。

▶ 備 考：1日だけの参加もOK！宿泊先はご紹介可能です。

▶ お問合せ：info_public@agrimedia.jp（アグリメディア）

※ スケジュール等の詳細は、お申込みいただいた方に事務局から連絡いたします。

▼ 申込はこちら！



⌚ スケジュール

1日目(11月21日・金曜日)

13時30分 嬉野市・うれしの市民センター 集合

- ◆ 嬉野(うれしの)市
 - ① 東吉田(ひがしよしだ) 7.4ha
 - ② 内野山(うちのやま) 6.0ha
 - ③ 五代(ごだい) 2.6ha
 - ④ 丹生川(たんじょうがわ) 7.0ha

16時20分 解散(予定)

📍 ツアー開催地



2日目(11月22日・土曜日)

10時00分 集合場所は、申込者に後日連絡します。

- ◆ 唐津市(からつ)市
 - ⑤ 北波多(きたはた) 8.1ha
- ◆ みやき町
- ⑥ 篠原(みのばる) 10.5ha

14時35分 解散(予定)

📍 佐賀県

10. 玄海町農業委員会の取組みについて

【農業委員会の体制】

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

体制：農業委員7名、農地利用最適化推進委員6名、事務局4名

(1) 農業の概要

玄海町は、佐賀県の西北部に位置し、対馬海流を北上する対馬暖流の影響を受けて比較的温暖で、標高100～200メートルの低い山が波状的に起伏しています。玄武岩特有の「上場台地(うわばだいち)」では、豊かな大地と気候が、農業生産の基盤となっています。

特に、いちごやトマトといった施設野菜やハウスみかんの栽培が盛んで、玄海町の主要な農業產品として知られています。また、畜産業も活発に行われており、地域農業を支える重要な産業となっています。

(2) 農業委員会の取組み

玄海町では、町内を大きく3つの地区に区分けし、各地区に4～5名を配置して、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、農地のあっせんなどの活動を日々行っています。

また、毎年1回開催される「玄海町産業文化祭」では、農業委員会のブースを出展し、農業委員や農地利用最適化推進委員が、農業者年金の加入推進のためのチラシ配布や相談対応を行っています。

さらに、昨年は企画商工課と共に、「男女共同参画」の観点から、「女性農業者との意見交換会」を開催しました。町内の女性農業者12名、農業委員7名、農地利用最適化推進委員6名が参加し、活発な意見交換が行われました。



女性農業者との意見交換会の様子



チラシ配布・相談活動の様子
(玄海町産業文化祭)

参加者からは、「女性の家事分担を男性にも振り分けるなど女性の社会進出に向けた意識付けが必要」等といった意見が出されました。

また、「これまで女性農業者同士が交流する場がなかったので、こうした企画はとても良いと思う。今後もぜひ続けてほしい」と好評で今年度も12月に開催予定です。

11. 活躍する農業法人の紹介

循環型農業と6次化で未来を拓く ナカシマファームの挑戦！！

嬉野市塩田町の(有)ナカシマファーム
代表取締役・中島大貴さん(39歳)^{ひろたか}は、三代にわたり続く酪農(約100頭)を基盤に自給飼料や堆肥の生産、乳製品の製造・販売、さらにはカフェ運営までを一貫して行い循環型農業と6次化を実践。多角的な経営で新たな価値を生み出す姿が注目を集めています。

同ファームでは、牛にとって快適な環境づくりと自給飼料を使った乳牛の飼養に力を入れ、持続可能な酪農を目指しています。搾りたての生乳は、自社工房でチーズに加工。特に、乳清を加熱してキャラメル状に仕上げる「ブラウンチーズ」は国内でも珍しく、濃厚な甘みと香ばしさが特徴です。



自慢の逸品ミルクブリューコーヒー

さらに、生乳とコーヒーを組み合わせた「ミルクブリューコーヒー」を開発し、カフェで販売するほか、地域の新たな特産品として注目されています。

「生乳の良さをそのまま届けたい」という中島さんの思いから製品はすべて手づくり。牛から出る堆肥は自社の牧草地で再利用し、資源を循環させる仕組みを整えています。

「厳しい時代だからこそ、酪農のもつ価値について頭を柔らかく、多方面から見つめ直し、自分達ならではの酪農を磨いて行くことが重要」と語る中島さん。地元の学校や観光客を対象にした見学・体験の受け入れも進め、地域農業の魅力発信にも力を注いでいます。

伝統を守りながら新しい挑戦を続けるナカシマファームは、酪農の未来を切り拓く存在として期待されています。



カフェを運営するナカシマファーム代表の中島大貴氏（写真左）



牛舎の様子

1.2. 農業者年金の加入推進について

8~9月の新規加入状況は以下のとおりです。佐賀市、鹿島市、小城市、有田町、白石町で加入があり、有田町と白石町が目標達成されています。

12月9日に「今すぐ加入が絶対お得！後悔しない賢い選択！！」をテーマに、農業者年金基金主催の「第4回農業者年金オンラインセミナー」が開催されます。特に若い方向けのテーマですので、加入推進に役立つ内容です。是非ご参加ください。(次ページにチラシあり)

市町名	目標	8月	9月	合計	達成率	達成まで
佐賀市	7	0	4	6	86%	1
唐津市	11	0	0	2	18%	9
鳥栖市	1	0	0	1	100%	達成
多久市	1	0	0	0	0%	1
伊万里市	3	0	0	0	0%	3
武雄市	1	0	0	3	300%	達成
鹿島市	2	0	1	1	50%	1
小城市	3	0	1	2	67%	1
嬉野市	2	0	0	1	50%	1
神埼市	2	0	0	0	0%	2
吉野ヶ里町	1	0	0	0	0%	1
基山町	1	0	0	0	0%	1

市町名	目標	8月	9月	合計	達成率	達成まで
上峰町	1	0	0	0	0%	1
みやき町	1	0	0	0	0%	1
玄海町	2	0	0	0	0%	2
有田町	1	1	0	1	100%	達成
大町町	1	0	0	0	0%	1
江北町	1	0	0	0	0%	1
白石町	6	3	2	6	100%	達成
太良町	3	0	0	0	0%	3
計	51	4	8	23	45%	28

20~39歳	36	3	3	16	44.4%	20
女性	29	1	3	4	13.8%	25

★ 前納納付の申込期限は11月14日です★

今年は米価の上昇等により多くの農業者において高収益が見込まれる状況で、農業者年金での社会保険料控除による大きな節税効果が期待できます。

令和8年分の保険料を前納納付すれば 最大月額6万7千円×12ヶ月 = **80万4千円** が全額社会保険料控除されます。さらに、経営主が同一世帯家族分の保険料を支払った場合も、経営主の所得から控除できます。

こうしたメリットを踏まえながら加入推進をお願いします。また、既加入者へ保険料の引き上げおよび前納の案内についてもお願いします。

- ◆11月以降、農業会議とJA中央会でインスタグラム広告とラジオCMを実施します。

前納保険料の社会保険料控除の扱い

翌年の保険料を前納納付した場合の確定申告については、例えば、2026年分の保険料を前納納付した場合は、2025年の毎月分の保険料の合計と合わせて、2026年3月までの確定申告として行うか、または2026年分として2027年3月までの確定申告として行なうことができます。



※保険料月額2万円の場合：
2025年の毎月の保険料(24万円) + 前納した2026年分の保険料(24万円) = 48万円の社会保険料控除

知って得する！

NOUNEN

第4回

農業者年金オンラインセミナー

テーマ 今すぐ加入が絶対お得！後悔しない賢い選択!!

参加費
無料

事前
登録制

「年金」って聞くと、若い今は「まだ先のことだし・・・」とか、「保険料を支払う余裕もないし、もう少し経つたらいいや・・・」なんて考えがちだと思います。

実は、若い今こそが加入どきなんです！

本セミナーでは、農業者年金に若いうちから加入するメリットなどについて解説します。セミナー中は、リアルタイムで質問も受け付けます。

農業者の皆様はもちろん、農業委員・農地利用最適化推進委員の皆様もこの機会にぜひご参加ください！

特に
こんな若手農業者に
オススメ!!

農業者年金に
ついて、内容を
より詳しく
知りたい方

「年金」なんて
まだ先の話…
とお考えの
若い方

保険料の負担が
キツイな…
と加入を
悩んでいる方

◆開催日時：12/9(火)
(15:00～16:00)

◆開催方法：Zoomウェビナー
(オンライン開催)

◆お申込み方法：

右の2次元コードを読み取ってください。
または、下記URLの予約フォームから必要
事項を記入の上、お申込みください。



URL : <https://forms.gle/K7yYzX2nRWdkhTUo6>

※受講用のURLはご登録いただいたメールアドレスに
開催日までに送付します。

◆お申込み締切日：12/8(月)

- ※1 PCやタブレットなどの端末及びインターネット回線は
ご自身でご用意をお願いします。
- ※2 スマートフォン・タブレットからの参加の場合、
「Zoom Workplace」アプリのインストールが必要です。
- ※3 災害等の状況によっては、セミナー内容の変更又は
中止させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。
- ※4 農業者の仲間やご家族などを説いていたり、
1つの端末で複数人でご参加いただくことも可能です。

講師

【堀口 浩 氏】

株式会社ジーステラエンタープライズ 代表取締役



32年間を経た（一社）岐阜県農業会議で、
農地制度、経営対策及び農業者年金等の各種
事業、農業法人協会等農業経営者組織の運営
を担当。退職後、2024年5月開業。これまで
での知識を活かし、現在は農業経営に関する
アドバイスや各種講演を行うなど幅広く活躍中。

【佐藤 佑美 氏】

長岡市農業委員会農業委員

農業者年金加入推進部長

前農業者年金広域推進協力員



JAえちご中越フレッシュユミズカウジ所属。
2020年より農業女子PJメンバー。nowa（長
岡地域女性農業者コミュニティ）代表。
結婚を機に就農し、現在、水稻、さざげ豆、
小松菜、ほうれん草を生産。25歳から農業者
年金に加入中。

2023年10月から2025年5月まで農業者年金
広域推進協力員として活動し、現在でも女性
農業委員等として、精力的に農業者年金の加
入推進に取り組まれている。

独立行政法人
農業者年金基金

お問い合わせ：企画調整室 03-5919-0332

詳細は、HPをご覧ください。<https://www.nounen.go.jp/>

これまでの農業者年金オンラインセミナーは、YouTubeの農業者年金基金公式チャンネル「のうねんチャンネル」
でご覧いただくことができます。ぜひご覧ください。https://www.youtube.com/@nounen_channel



加入の決め手は政策支援

佐賀・江北町 北原 良太さん

就農まもない2
〇14年、農業

【佐賀】江北町で米・麦・大豆 着年金に政策支援加入した。
を栽培する北原良太さん(39)。 良太さんは長崎市の生まれ。結

婚を機に妻の実家がある

江北町へ移住し、家庭の農家を継ぐことを決意した。農業は未経験で、移住という慣れ

ない環境でのスタート

だったが、県4Hクラブ会長を2年間務めながら、地元若手農家グループの代表として、子どもや若者を対象とした農業体験等を通じて活躍している。

農業者年金への加入の決め手は

政策支援制度だった。就農前はサラリーマンだったため、将来の年金額に不安があったところに、当

時、地元の農業委員で農業者年金加入者だった義父の靖章さん(72)からの勧めや、政策支援に魅力を感じ加入を決めた。「政策支援が受けられる期間は、上限いっぱいで活用するつもり。活用できるものは最大限活用したい」と良太さん。

「自分の老後は、自分で備えて準備しておくべき。農業者年金は積立方式で安定した制度かつ政策支援も活用できる。若い人にとっては特にメリットが多く、老後の備えとしてとてもいい制度だと思う」と若い農業者の背中を押すように語ってくれた。



「自分の老後は自分で備えて」と語る
良太さん

13. 全国農業新聞・全国農業図書の普及推進について

○全国農業新聞の普及推進について

早期に農業委員・推進委員の皆購読を！！

令和7年11月現在

市町名	目標	部数	目標達成まで	委員未購読数
佐賀市	187	141	46	5
唐津市	123	102	21	4
鳥栖市	51	42	9	0
多久市	51	41	10	0
伊万里市	74	62	12	4
武雄市	83	65	18	0
鹿島市	75	60	15	1
小城市	79	68	11	4
嬉野市	64	49	15	4
神埼市	74	65	9	3

市町名	目標	部数	目標達成まで	委員未購読
吉野ヶ里町	37	35	2	0
基山町	21	17	4	1
上峰町	18	13	5	2
みやき町	36	28	8	0
玄海町	30	23	7	0
有田町	37	31	6	3
大町町	19	15	4	0
江北町	35	31	4	0
白石町	62	49	13	5
太良町	44	32	12	0
農業会議	100	93	7	
	1,300	1,062	238	36

「全国農業新聞」を是非ご購読お願いします。

農業委員会組織では、全国農業委員会会长大会の決議に基づき、
農業委員・推進委員全員に「全国農業新聞」を購読いただく
活動に取り組んでいます。



全国農業新聞は、農地利用の最適化活動や地域計画のブラッシュアップなど各委員が地域で活動に取り組む上で参考になる情報が満載されています。また、農業者に役立つ最新の技術や先進農家の取り組み等を紹介しています。

～農業委員・推進委員1人・1年・1部純増をお願いします～

全国農業新聞 普及推進キャンペーン 実施中!!

農業経営に役立つ情報が満載!!



キャンペーン概要

- 目的 情報提供活動の強化のため「農業委員・推進委員1人・1年・1部純増運動」の実施により、全国農業新聞の普及推進を図る。
- 期間 令和7年10月1日(水)～令和8年3月31日(火)
- 対象(推進者) 農業委員・農地利用最適化推進委員等
- 内容 キャンペーン期間中に全国農業新聞の新規購読に結びついた場合は、1部につき500円分のクオカードを推進者に進呈します。
ただし、100部に達成次第、終了します。
※推進者自らの購読は対象外



全国農業新聞の特徴

- 農業経営に役立つ最新技術・政策動向を掲載
- 農家の経営発展に有益な情報源
- 地域の農業振興に必要となる情報収集ツール

ご協力のお願い

このキャンペーンの実施により、より多くの農家の皆さんへ全国農業新聞の普及推進をお願いします。
【問い合わせ先】一般社団法人佐賀県農業会議 担当：徳永
TEL：0952-20-1810

新刊図書の案内

○全国農業図書の紹介

2025年度版 農家相談の手引

農地・経営対策に役立つ！支援制度の資料集！

農業委員・農地利用最適化推進委員をはじめとした地域農業のリーダーなどが、農業者から相談を受ける際に制度や施策の要点について説明するため活用できる資料集です。

各種研修会のテキストとして、農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として幅広く使用できる、多くの情報をわかりやすくまとめています。【税込 880円】



令和7年度版 よくわかる農家の青色申告

農家向け手引書の「決定版」！

各種農業施策の対象として位置づけられ重要性が高まる青色申告制度の仕組みと申告手続き、源泉徴収と納付の仕方、簿記記帳の実務、確定申告書の作成から納税までを網羅し、記入例を交えて解説した農家向け手引書の決定版です。

令和7年度版では、農業に関する税制改正事項のほか、所得税の基礎控除の見直しに伴う対応についても掲載しています。【税込 990円】



4訂 農業委員・推進委員活動マニュアル

「地域計画」の実現に向けて内容を一新！

「農業委員・推進委員が活動するために必要な情報を盛り込んだマニュアルです。農業経営基盤強化促進法等の改正に伴い、令和7年3月までに全国1万8633地区で「地域計画」が策定されたことを踏まえ、内容を一新しました。

第1章では農業委員会についての基礎知識や期待される役割について、第2章では農業委員会の業務内容について解説。第3章では「地域計画」の策定に向けて、どのように取り組めばよいのか、また、「地域計画」策定後のブラッシュアップ（見直し）をどう進めて行くかを具体的に紹介しています。【税込 770円】



14. 常設審議委員会の結果について（令和7年9月・10月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構（佐賀県農業会議）に意見を求められた案件について、常設審議委員会で審議されました。

第114回、第115回の件数及び面積については、下表のとおりです。

<農地法関係処理状況>

【審議件数】

回数	期日	区分	件数
第114回	9月16日	第4条	0
		第5条	3
第115回	10月15日	第4条	0
		第5条	4

【田畠別件数及び面積 (m²)】

回数	期日	区分	田		畠		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第114回	9月16日	第4条	0	—	0	—	0	—
		第5条	3	19,679	1	71	3	19,750
第115回	10月15日	第4条	0	—	0	—	0	—
		第5条	3	11,422	2	5,003	4	16,425

15. 今後の行事予定について

月	日	時間	場所	内 容
11	11	13:30	Web	農業者年金担当者研修会（支給停止関係）
	17	13:30	佐賀総合庁舎	第116回常設審議委員会
	18	14:00	長崎市	九州・沖縄ブロック女性委員研修会(1日目)
	19	9:00	長崎市	九州・沖縄ブロック女性委員研修会(2日目)
	26	13:00	東京都	農業者年金加入推進セミナー
	27	9:00	東京都	国会議員への要請活動 全国農業委員会会长代表者集会
12	10	13:30	グランデはがくれ	農業者年金担当者研修会（裁定請求関係）
	15	13:30	グランデはがくれ	第117回常設審議委員会
	15	15:00	グランデはがくれ	市町農業委員会会长会議
	1	15	13:30	佐賀総合庁舎

※10月末時点の予定ですので変更もあります。公文書の確認をお願いします。

ご予定お願いします！！